注意点1



左手タッピングの秘訣は 左手全体の跳ねた動きにあり

最高峰の難易度を持つ左手先行のタッピング・ フレーズ。マイケル・ロメオが得意とするこの超絶 テクニックを弾くためには、まず左手タッピングを しっかりと身につけなくてはいけない。写真① ~④は1小節目1拍目となっているが、5弦7フ レットを左手の人差指でタッピングする時、人差 指は通常のハンマリングの"叩く"感じではなく、"打 ちつける"感じで行なうと良いだろう。この時、 左手全体を跳ねさせるようにすると良い。写真 ①と写真②を見比べてもらえばわかるが、人差 指で押弦したあと、人差指を軸足に小指側の手 が浮いているように見える。このように左手全体 が跳ねたような動きをすることで、より大きな音量 を得ることができるのだ。さらに、人差指の指先 と腹部分で余弦のミュートを行なうと良い。



左手の人差指による 5 弦 7f のタッピングの直前状態。





続いて、小指で5弦10fをハンマリング。



右手によるタッピング。人差指によるミュートを忘れずに。

注意点2



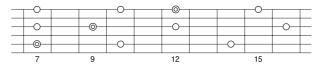
4 小節目の変則リズムは 指の順番を覚えて対応しよう

このフレーズの基本的なポジションは、人差 指+小指or薬指+右手タッピングの3音1セッ トのパターンとなっている。まずは、この基本 パターンを1本弦でしっかりと練習しよう。慣 れてきたら、図1のスケール図で全体のポジショ ンを確認してほしい。このフレーズでは、1~ 3 小節目は Em7 のコード・トーン、4 小節目は Edim7のコード・トーンが使われている。ここ でも各パートごとに、ポジショニングを確認す ると良いだろう。4小節目は5連符+6連符の 変則リズムが登場するので注意が必要だ。た だしあまり複雑に考えず、3音+弦跳び3音 の6音を"上昇は人差指から""下降は右手の タッピングから"と考えながら弾けば、リズム は取りやすいだろう。

弦跳びタッピングのコード・トーン図

◎ルート音=E

1~3小節目 Em7のコード・トーン



4小節目 Edim7のコード・トーン

			-
			
12	15	17 19	21

~コラム 31 ~

地獄の戯れ

ここでは、タッピングのルーツとなった70& 80年代の名プレイを紹介しよう。1曲目はヴァン・ ヘイレンの「暗黒の爆撃」。このエディのタッピ ングは、当時世界中のギタリストに大きな衝撃 を与えた。現在でも決して色あせることのない 歴史的な名演だ。次はラウドネスの「SOLDIER OF FORTUNE」。高崎晃の両手タッピングは、 エディの次にタッピングに革命をもたらした超絶 プレイと言えるだろう。非常にテクニカルであり ながら、クリアに演奏されている点にも注目して もらいたい。最後はアルカトラスのストリッパー」。 ヴァイのタッピングは、非常に音域が広く、タッ ピングの新たな可能性を見せつけてくれた。

タッピング名盤



from『炎の導火線



ラウドネス 「SOLDIER OF FORTUNE 」 from SOLDIER OF FORTUNE



アルカトラス from『ディスタービング・ザ・ピース』